

抗 Nup98 抗体, ラットモノクローン(2H10)

70-310 200µg

Nucleoporin 98 (Nup98) は核膜に埋め込まれた大きな構造体である核膜孔(NPC)の構成成分の一つであり、核膜孔の両側に存在する。このタンパク質は Gly-Leu-Phe-Gly の繰り返し配列を持っていて、タンパク質の核移行及び RNA の核外への移行に必須である(1)。Nup98 遺伝子は白血病患者の染色体上で転移していて種々の遺伝子と融合している(2)。このハイブリドームは大阪市立大学の立花太郎博士の研究室で作成された(3)。

用途:

1)ウエスタンブロッティング 2)免疫染色 (Fig. 2) 3)ELISA 4) ドットブロッティング

性質: 本抗体を細胞質に注入すると核膜孔に蓄積し、内在性の Ran タンパク質の核局在を阻害する。

抗原: 組換え体 Nup98 タンパク質 (アミノ酸 1-466)

Isotype: Rat IgG2c (κ)

反応性: ヒト、マウス、ラットの Nup98 タンパク質。他の生物種では調べていない。

性状: 精製 IgG (1 mg/ml) in PBS(-), 50% glycerol, filter-sterilized, azide free

保存: -20°C (長期; -80°C)

データリンク: UniProtKB/TrEMBL [Q9HDC8](#) (Q9HDC8_HUMAN)

文献: 本抗体は文献 3 に記載されている。

1. Griffis ER et al "Nup98 is a mobile nucleoporin with transcription-dependent dynamics." *Mol.Biol Cell* **13**: 1282-1297 (2002) PMID: [11950939](#)
2. Moore MA et al "NUP98 dysregulation in myeloid leukemogenesis." *Ann N Y Acad Sci* **1106**: 114-142 Review (2007) PMID: [17442773](#)
3. Fukuhara T et al "Specific monoclonal antibody against the nuclear pore complex protein, nup98." *Hybridoma* **24**: 244-247 (2005) PMID: [16225424](#)

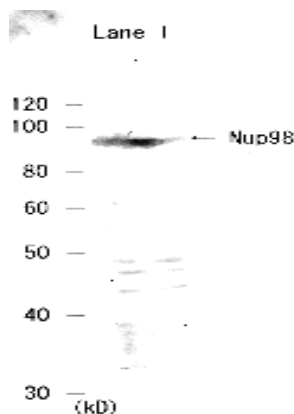


図1 Nup98 タンパク質の 2H10 抗体を用いたウエスタンブロッティングによる検出。サンプルは MCF7 細胞粗抽出液、抗体は 5,000 倍希釈で用いた。

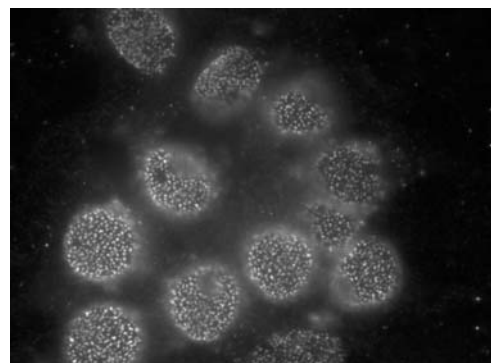


図2 マウス神経細胞の 2H10 抗体を用いた免疫抗体染色。Nup98 タンパク質は粒子状にみえる。